

特定非営利活動法人アクティビティ・サービス協議会認定 アクティビティ・サービス担当教員資格取得研修会

科目名：アクティビティ・サービス科目担当教員資格取得研修

ねらい：教育現場において「アクティビティ・サービス」の教育の必要性を認識し、教授法、今後の教育の到達目標が明確になる

留意点：サービスの提供は主体的生活を営む人びとの生活支援技術

教授目標：教授すべき内容を理解し、教育内容の基準、効果的教育法を修得する

使用テキスト：新訂 アクティビティ・サービス～心身と生活の活性化を支援する～

(中央法規出版株式会社発行)

	回	授業計画表	中核目標
原論	1(45分)	社会福祉の経緯と語源	実践の根拠
原論	2(45分)	生活の快論	生活の快の必要性
総論	3(45分)	専門職の確立	専門職の役割
総論	4(45分)	援助の基本 (体系と連携・生活と文化)	生活支援の必要性
総論	5(45分)	生活環境Ⅰ 多面的人間理解	自立・自律の概念
総論	6(45分)	生活環境Ⅱ リスクマネジメント セーフティマネジメント・クオリティマネジメント トへ	生活場面からのマネジメント
総論	7(45分)	生活環境Ⅲ 人生モデルにおける看取り	尊厳ある死
各論	8(45分)	サービス実践の思考過程	明瞭・明確・明晰の過程
各論	9(45分)	アクティビティ・サービスにおけるプログラムと計画 サービス	支援に資する意味
各論	10(45分)	個別の生活課題 理論的分析を取り入れたアクティビ ティ・サービス展開	生活支援技術のありかた
各論	11 12(90分)	再帰と実践	生活支援実践
各論	13(45分)	融合と普遍的尊厳	生活の連続性
教授法	14(45分)	創造的実践への教授法	教育の萌芽
教授法	15(45分)	アクティビティ・サービス教授法と学生評価	自己教育評価の具体像
技術論	16(45分)	資料編 P154～P204 CDROM 等教育的効果素材	生活史の理解と共感

- ①上記内容で、90分1コマ×8コマで実施いたします
- ②受講後の登録費用：年会費5000円・登録申請料10000円 合計15000円（1名につき）
評価法）受講後、レポート提出。レポート内容が本協議会の評点に達すること
レポート評価は教授した担当講師がおこないます
- ③アクティビティ・ワーカー養成課程認定校登録申請準備の場合に限り、複数名受講の場合は講師を派遣いたしま
す。＊講師料及び交通費・宿泊費は本協議会負担。但し会場はご用意ください。
- ④日程につきましては、2～3コース希望日をお知らせ下さい。
講師の日程調整が出来次第お知らせいたします。